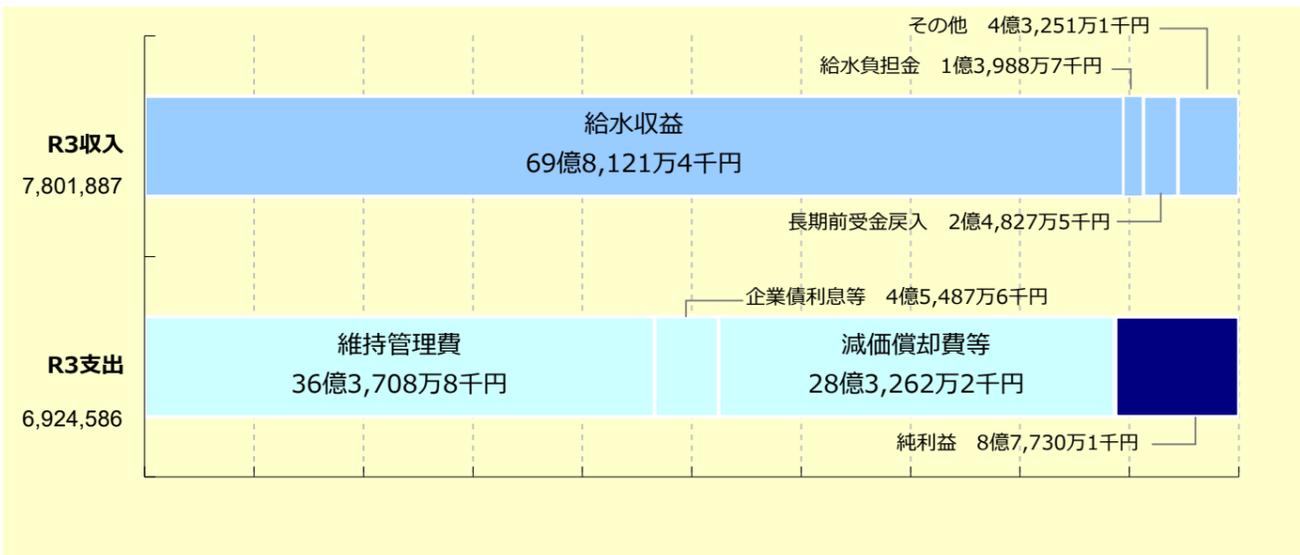


宮崎市上下水道局 令和3年度 決算概要（水道事業）

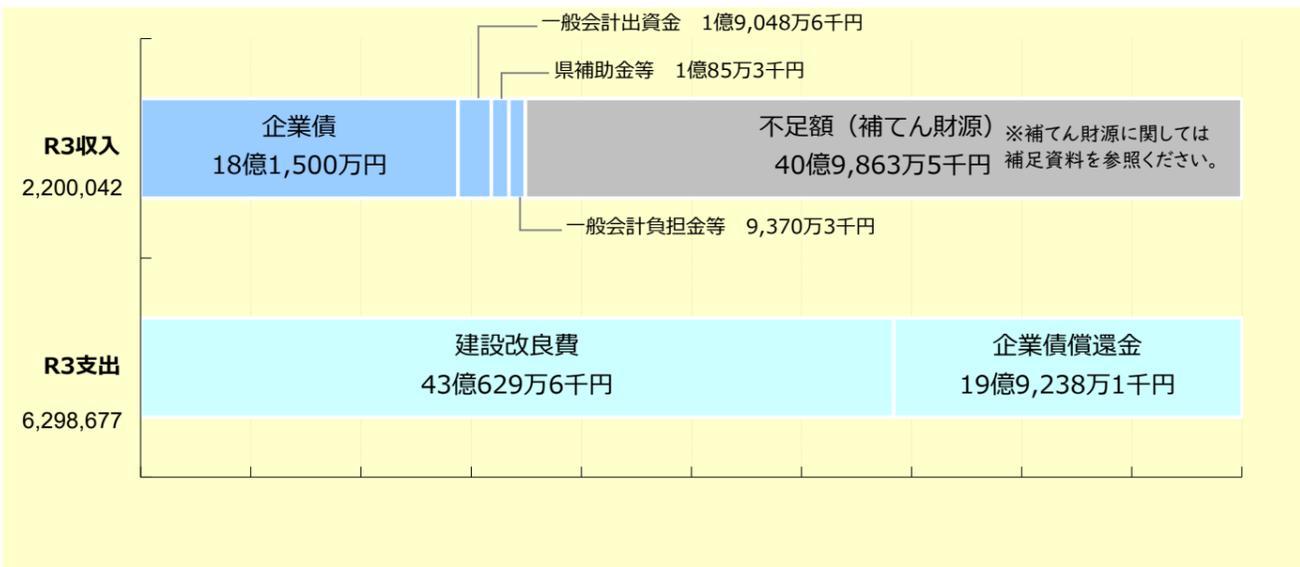
収益的収支（税抜、単位：千円）

< 1年間の企業の経営活動に伴い、発生する収益及び費用 >



資本的収支（税込、単位：千円）

< 施設の建設など支出の効果が次年度以降に及ぶ費用、企業債の元金償還などの支出とその財源となる収入 >

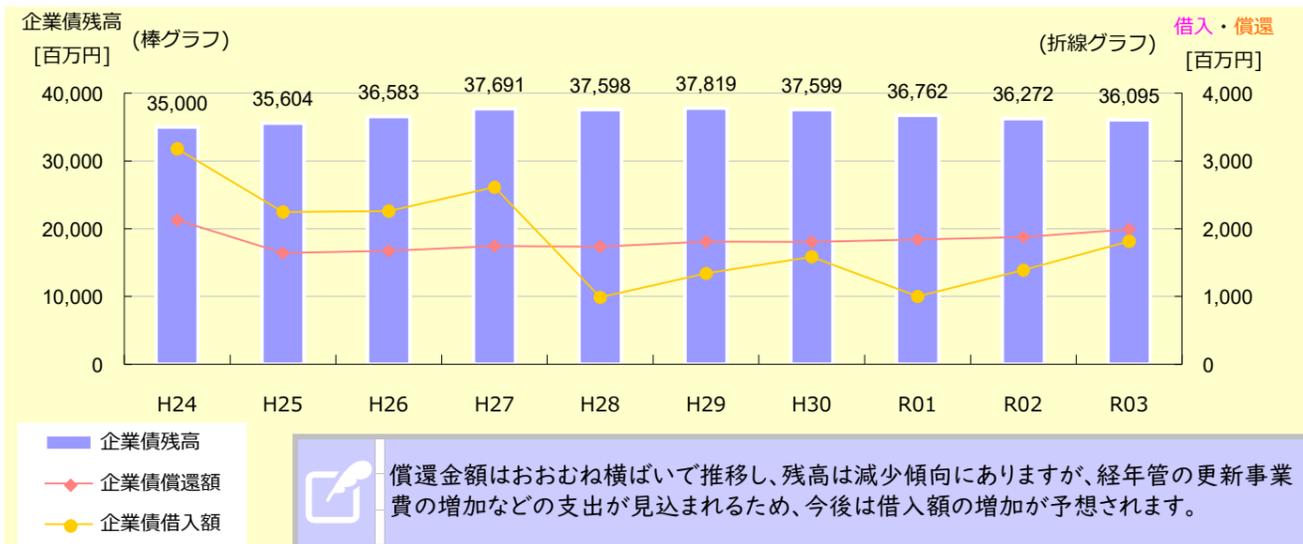


※減価償却費…長年使用する資産の取得費用を耐用年数に応じて費用化したもの
 ※長期前受金戻入…長年使用する資産の取得時に交付された補助金等を減価償却費と同様に収益化したもの

【決算のポイント】

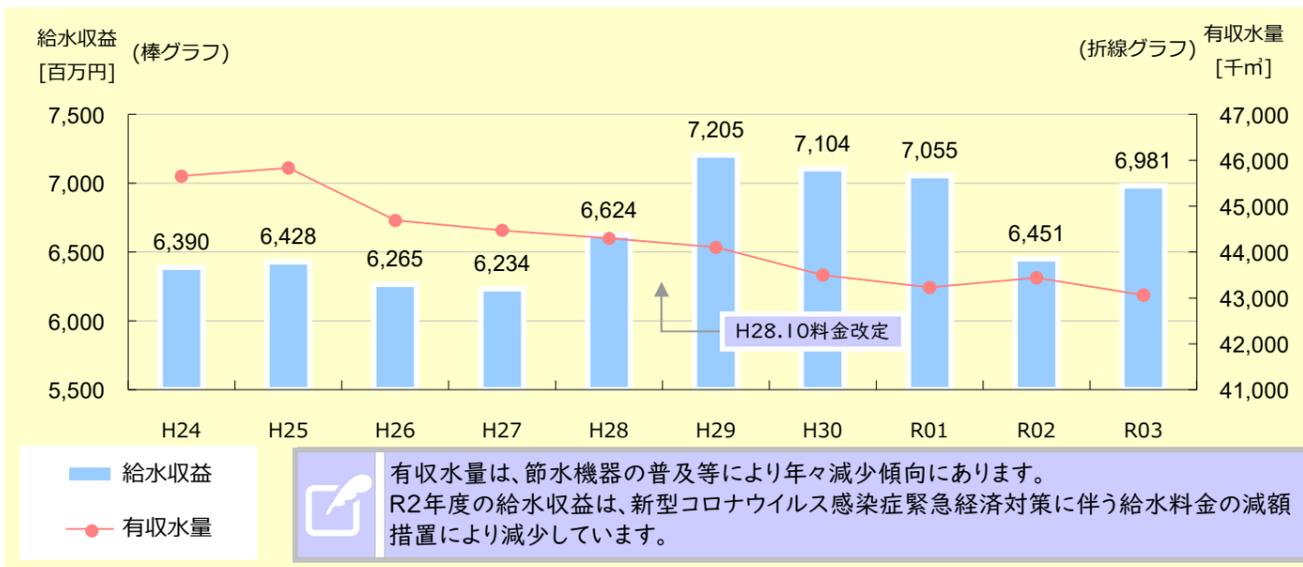
- ・前年度と比べて給水収益が約5億3000万円の増収となりました。
- ・純利益（黒字）8億7,730万1千円を計上しました。
- ・平成26年度からの継続費事業であった下北方浄水場新系浄水施設整備事業が完了しました。
- ・不足額を内部留保資金（損益勘定留保資金など）で補てんしました。

企業債残高及び企業債償還金の推移（単位：百万円）



償還金額はおおむね横ばいで推移し、残高は減少傾向にありますが、経年管の更新事業費の増加などの支出が見込まれるため、今後は借入額の増加が予想されます。

給水収益及び有収水量の推移（単位：百万円、千m³）



有収水量は、节水機器の普及等により年々減少傾向にあります。R2年度の給水収益は、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に伴う給水料金の減額措置により減少しています。

令和3年度に実施した主な事業

- ①浄水場等改修事業（事業費：5億9,685万5千円）
下北方浄水場新系浄水施設整備事業が完了しました。
- ②経年管更新事業（事業費：9億1,392万8千円）
配水管布設替工事により約11.3kmの経年管を更新しました。
- ③幹線管路耐震化事業（事業費：17億8,438万3千円）
災害発生時に避難所となる公共施設や拠点医療施設を中心に、市内中心部を巡る環状ルートの幹線管路の耐震化に取り組みました。